

「想 い」

2022年度 65周年特別室
実行委員長 吉田 雄太

昨今明日を予測することすら困難な時代になっています。

だからこそ今一人一人が何をすべきかを考え、そのすべき事を全力で行い、今まで培ってきた先輩諸兄の功績への敬意を、歴史、伝統、文化を積み重ねて頂いたことに感謝を表し、より良いものにし、今後10年20年先にバトンをつなぐ責任があります。

我々は未来を見据えながら情熱を持ち、市民、まちのために急速に変化する時代に対応しなければなりません。

それには確固たる「想い」が必要である。

想いは何よりの原動力です。想いは目には見えないけどあらゆる物を育む根源です。信じた道を歩んで行くと傷つき悩むこともありますが、強い想いがあれば何度でも立ち上がりいかなる困難な道でも切り開くことができます。

まちのため、市民のため、仲間のためだからこそいつも以上の力を発揮することができ、自分の限界を打ち破り、さらなる自己成長を遂げることが出来ます。

想いこそがこれから進むべき道を照らす光だと考えます。

今当たり前にあること全てが誰かの強い想いで出来たものです。

未来は自分の中にあります。想いで未来を創りましょう。